

委員会視察レポート

各委員会で先進事業を視察しました。魅力ある刈谷市づくりに活かします。

ビューティフル・ウィンドウズ運動推進事業について (東京都足立区)

企画総務委員会 野村武文 委員長

東京都足立区は、23区の最北端に位置し、面積53・2平方km、人口68万3千人余の都市である。

アメリカ合衆国ニューヨーク市では、割れた窓ガラスを放置するなどの軽微なことから地域全体が荒廃し犯罪が増えるという「割れ窓理論(ブロークン・ウィンドウズ)」による対策で治安を回復させたことを参考に足立区独自に「ビューティフル・ウィンドウズ」と命名した。

スローガンに「美しいまちは、安全なまち」をかけた、すべての区民が美しいまちづくりや防犯の活動に参加し、安全で安心して暮らせるまちづくりを目的にしている。

「美しいまち」を印象づけて「犯罪を抑制」するという区独自の運動であり、まちをきれいにする清掃や防犯パトロールなどの活動をとらして区民の一人ひとりが、安全と安心の暮らしを守っている。警視庁も「足立区における治安再生事業の推進に関する覚書」を足立区と締結し、

要請に応え支援を行っている。

現在、防犯対策に決定的なものはないが、美しいまちづくりによる区民と一体となった活動が、実際に、犯罪の抑制、安全安心なまちづくりにつながっていることを実感し、本市における「美しいまちづくりによる犯罪防止」の必要性を強く感じた。

そのほか、埼玉県戸田市の戸田市政策研究所について、千葉県佐倉市のファシリティマネジメント推進事業について視察した。



美しいまちづくりについて視察

この事業は「NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ」へ運営委託したもので、委託料は約190万円である。予算の使途は、「オーガナイザー」と呼ばれるコーディネーターの件費、研修費用などが主で、オーガナイザー以外のスタッフ13名は基本的にボランティアであるため、予算規模から考えると非常に安定した事業になっているとのことだった。

事業を推進する中で、家族が肯定的な子育てができるように変わっていく様子が見られ、支援する側、される側、相互



刈谷市での類似事例を研究

に有効な活動となったとのことであった。

事業の概要は、利用者からの申し込みや、関係者(保健師、民生児童委員、保育所等)からの紹介でスタートし、初回は利用者宅へコーディネーターが訪問し要望の聴取などを行う。2回目はコーディネーターとビジターが訪問し、訪問計画などの打ち合わせ。ホームビジターを派遣(概ね週1回、月4回)という流れである。コーディネーターは各機関と連携しながら活動の進行状況を把握し必要に応じて他のサービスへつなぐというものであった。要保護児童対策協議会との連携体制もとれ、信頼性があり安心して利用できる子育て支援であると感じた。

刈谷市も、10月より類似した事業である「育児ママ訪問サポート事業」を立ち上げたため、今回の視察で得た知識を大いに活かし、事業の活性化に役立てたい。

そのほか、神奈川県川崎市のかわさきエコ暮らし未来館について、千葉県千葉市の発達障害者支援について視察した。

ホームビジター派遣事業について (東京都清瀬市)

福祉経済委員会 前田秀文 委員長

議会へのタブレット端末導入について (埼玉県飯能市)

議会運営委員会 佐野泰基 委員長

飯能市は、平成24年4月より、タブレット端末という先進的なツールを活用し、事務経費の削減や議会運営の効率化を図って成果を上げているとのことであった。

導入の経緯としては、環境に配慮した活動推進として、ペーパーレス化に取り組むが、当初の目標値に届かず、平成22年度比で125万枚の削減が必要となり、対応策が必要となった。執行部の対応としては、ペーパーレス会議を推進するなどの対応として、議会改革検討会で議論を重ね、全員協議会に「情報端末機器を導入し、ペーパーレス化すること」を提案した。また、その他にも、情報通信技術(ICT)活用による議会改革の推進を行うなど、議員活動におけるすべての情報伝達・収集をタブレット端末で実施することとした。

導入の効果としては、費用削減効果として年間約210万円、紙使用量削減枚数として年間約10万枚といった経費削減、環境負荷低減の他にも、情報伝達の迅速化、危機管理対応の向上、政務調査活動の充実などが挙げられる。

飯能市においては、タブレット端末導入について話し合いを進める中で、導入に賛成の議員の指導力が強かったことが、導入に至った主な要因ではないかと思われる。刈谷市においてもいろいろ意見があると思われるが、経費削減、事務作業の効率化などの効果を研究し、タブレット端末導入について今後検討をして慎重に判断をしなければならないと思う。

そのほか、茨城県取手市の議会改革について(議会からの情報発信について)、東京都千代田区の議場の附帯設備について視察した。



先進的ツールであるタブレット端末の活用状況を視察

廿日市市生活交通再編計画について (広島県廿日市市)

建設水道委員会 梶谷 勝 委員長

平成15年と平成17年の2度の合併により約500平方kmの市域に拡大、合併前はそれぞれの市町村で生活交通計画を策定してきたが、鳥しょ部や山間部、人口減少や高齢化に対応するため、生活交通体系の再編が急がれる背景がある。

代表的な運行形態としては、①地域の中心部への道路沿いに居住地が集中する地区については、バスを用いた往復路線、②主な目的施設が離れて立地する市街地部は循環路線、③中山間部等、複数に枝分かれした谷筋沿いに低密度な居住が見られる地区については、ミニバスやタクシーを用いた区域運行(デマンド)となっている。

デマンド型乗合い交通は事前予約登録が必要、有料で月平均400人程度の利用者があつたこと、このシステムを刈谷市の公共施設連絡バスに応用可能か研究してみたい。

その他にも、無線通信やGPSなどを利用し、インターネットや携帯電話など

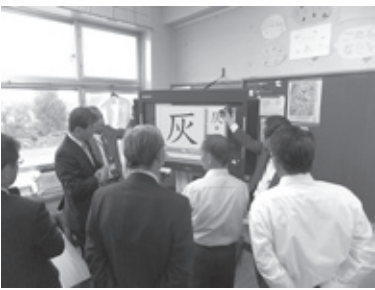
を通じて利用者に対して路線バスや高速バスの運行状況やバス停への接近状況などを表示・提供する「バスロケーションシステム」も平成25年度の整備に向けて進められている。

通院や買い物、介護などの高齢者を支える公共バスの役割の大きさと、課題克服のための手法として大変参考となった。そのほか、山口県周南市の省水型、環境調和型水循環プロジェクトについて、徳島県高松市の自転車利用環境整備事業について視察した。



人口減少や高齢化に対応した生活交通の再編事例を視察

大和市の電子黒板は、既存の50インチのデジタルテレビに電子黒板機能を付加したもので、タッチパネルになっているためとても操作がしやすい。「デジタル教科書」を使った国語の授業では、漢字の書き順を視覚的に指導していた。また、実物投影機も設置しており、この機能がポイントであると感じたが、投影した画像はテレビで見られるだけでなく、拡大したり文字を書き込んだりできるなど、様々な授業に応用、活用することができ



電子黒板を活用した授業を見学

業の大きな流れや大事なポイントを書き込み、多彩で判りやすい表示が出来る電子黒板と、両立して活用されていた。また、電子黒板とソフトに頼ることによる「教師の指導力の低下」や「電子黒板を使うことが目的になってしまふ」等の懸念も考えられたが、教師に対し「電子黒板を使うことで『教えた気』にならないように」や「電子黒板の導入により空いた時間で、これまで以上に子どもに接し、人間性や子どもとのふれあいがおろそかにならないように」などを指導しているとのことだった。

電子黒板は学習意欲や集中力向上に大いに役立つが、有効に活用するためには、全ての普通教室への設置が重要とのことであった。刈谷市でもぜひ全ての普通教室へ導入すべきであると感じた。

そのほか、神奈川県綾瀬市の市立図書館の指定管理委託事業について、東京都江戸川区の子ども未来館及び子ども図書館について視察した。

市立小学校普通教室への電子黒板導入について (神奈川県大和市)

文教委員会 神谷昌宏 委員長

委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

◆所管事務調査

「大規模災害発生時の各種窓口業務の対応について」「ホームページのリニューアルについて」「市政モニターの活用について」「全国市有物件災害共済会について」「最高裁判所裁判官国民審査における期日前投票について」などが話し合われました。

福祉経済委員会

◆所管事務調査

「うつ病、自殺予防対策について」「刈谷生きがい楽農セン

ターについて」「宅地開発事業におけるごみステーションの設置について」「東日本大震災における日本赤十字社の義援金について」「プラネタリウム及び中央児童館のリニューアルについて」「祝日保育の実態の認識について」「刈谷市で行っているプラスチック製容器包装ごみの状況について」「バイオディーゼル燃料について」「児童クラブについて」「刈谷市の発達障害児、発達障害者への支援の現状について」などが話し合われました。

文教委員会

◆所管事務調査

「小学校の太陽光パネル設置について」「刈谷市の図書館の司書について」「狩野テニスコートについて」「出前講座の現状について」「歴史博物館の進捗について」「養護学校について」「創意ある学校づくり事業の外部評価後の変化について」「中学校の太陽光発電設備の建物にかかる負荷について」「刈谷駅南口で集まっている若者の行動について」「体育施設の空調費の徴収免除について」などが話し合われました。

建設水道委員会

◆所管事務調査

「道路等清掃ボランティア団体の存在について」「バス停シェアリング設置における建築確認申請等の手続き漏れについて」「総合運動公園の管理体制につい

議会トピックス

◆市内の全中学生が議会を体験

表紙の写真でもご紹介しましたが、昨年の11月5日から16日にかけて、市内全中学校の3年生全員を対象とした、「地方自治制度学習」を市議会の本会議場で実施しました。

はじめに、議会事務局の職員から議会制度について説明した後、模擬議会を行いました。模擬議会では、議長役の生徒の進行のもと、市長役の生徒から模擬の議案が提出され、参加した生徒全員でそれぞれ委員会を構成し議案の審査を経て、最後は全員の多数決で可否を決定しました。

生徒たちは、熱心に説明を聞き、議案の是非を討論し、自分たちの考えを述べてくれました。これをきっかけに刈谷市のまちづくりに興味を持ってくれることを期待します。将来、選挙の投票率が上がったり、もしかしたら未来の市議会議員が誕生するかもしれません。期待に胸が膨らみます。

◆市議会のホームページが新しくなりました

刈谷市のHPのリニューアルにあわせ、これまで単独で運用していた市議会のHPも、刈谷市のもので一体化し新しくなりました。すべての方に見やすいようなページ構成と、スピーディーな情報伝達を心がけていきます。なお、スマートフォンからも閲覧しやすくなりました。

今後も、HPからの情報発信を通じて、市民のみなさんにとって議会が身近なものとなるよう、努めていきます。



昨年12月21日よりリニューアルされた市議会HP